

各加盟団体長 殿

福井県バドミントン協会

会長 中嶋光司

(公印略)

## 第40回全日本シニアバドミントン選手権大会福井県予選会実施要項

1. 大会名 第40回全日本シニアバドミントン選手権大会福井県予選会
2. 主催 福井県バドミントン協会
3. 開催日時 令和5年7月23日(日)
  - 9:00 開場・会場準備(参加者もご協力ください)
  - 9:30 開会式
  - 9:45 競技開始
4. 会場 福井市西体育館(福井市飯塚町10-8 TEL 0776-33-1414)
5. 対象年代 すべての年代(70歳以上、65歳以上、60歳以上、55歳以上、50歳以上、45歳以上、40歳以上、35歳以上、30歳以上の男子・女子)
6. 競技種目 全ての年代: 男子・女子 シングルス・ダブルス
7. 選考方法 別紙を参照すること。
8. 競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規則による。
9. 試合球 第1種水鳥検定合格球を対戦者同士が出し合うこと。
10. 競技方法 各年代の参加数が3以内ならばリーグ戦、4以上ならばトーナメント戦を行う。  
ただし、申し込み状況によっては競技方法を変更する場合もある。
11. 参加資格
  - ◆本年度の福井県バドミントン協会登録者で、第40回全日本シニアバドミントン選手権大会(以下「全日本シニア大会」という)の出場を希望する者。
  - ◆上記各種目の年齢に達していること。(年齢起算日は令和5年4月1日とする。)
  - ◆選手選考等の基本的事項は、「21.その他」に記載のとおりとする。
  - ◆予選会参加申込者で、予選会当日に本人が会場に来て受付及び試合をすることができない場合は、失格とする。  
ただし、慶弔等により当日参加できない者に限り、二次募集者に含める場合がある。
  - ◆その年度の国体選手は参加できない。
  - ◆公認審判員資格を取得している者。ただし、今年度に公認審判員資格検定会を受験して、第40回全日本シニア大会までに資格を取得する者も認める。
12. 参加料 1人 1,200円
  - ◆当該年代の申込が1組(または1名)のみで予選なしで出場候補者となった場合も、参加料は返還しません。
13. 申込方法 別紙「大会申込方法」を参照ください。
14. 申込先 別紙「大会申込方法」を参照ください。
15. 参加料の納付 別紙「大会申込方法」を参照ください。
16. 申込日 別紙「大会申込方法」を参照ください。
17. 組み合わせ 県協会大会事業部会において組み合わせる。
18. 代表決定 県代表選手は、本予選会の結果をもとに出場候補者の中から県協会常任理事会で正式に決定される。
19. 問合せ先 福井県バドミントン協会大会事業部 内藤正晃 携帯電話 090-2378-6531  
※上記問合せ先以外の県協会役員に問い合わせないこと。
20. その他 ◆第40回全日本シニア大会は、福岡県北九州市外にて開催される予定です。  
ただし、年代によって会期が異なるので注意してください。

30 歳以上から 45 歳以上まで : 11/25 (金) ~27 (日)

50 歳以上から 80 歳以上まで : 11/ 3 (金) ~ 5 (日)

- ◆申込種目、選考方法等の基本的事項は、次の通りとする。
  - (1) 県内の選手同士でのダブルス出場を希望する者は、ダブルスの予選会で選考する。県外の選手をパートナーにしたい場合は、シングルの予選会に参加すること。  
また、ダブルスの予選会には、全日本シニア大会に出場する時と同じ年代及び同一ペアで必ず参加すること。予選会に出場した年代及びペア以外での全日本シニア大会の参加申し込みは受け付けない。  
ただし、ダブルスで選考された者がシングルまたは混合ダブルスに出場する場合の年代・パートナーは除く。
  - (2) 県外の選手をパートナーにしてダブルス出場を希望する者、または混合ダブルスのみの出場を希望する者は、シングルの予選会に参加すること。  
また、シングルの予選会には、全日本シニア大会に出場する時と同じ年代で必ず参加すること。なお、全日本シニア大会に出場を希望するダブルスの年代と混合ダブルスの年代が異なる場合は、ダブルスの年代で予選会に参加すること。
  - (3) ダブルス・シングルともに選考された者が上記の年代・パートナーと異なる申込みをした場合は、故意の有無に関わらず該当者を失格とし、翌年以降 3 年間の予選会の出場を認めない。
  - (4) 予選会に参加する選手の年齢と出場する各種目の年代に差異が生じている場合は、県協会大会事業部が確認することがある。
  - (5) その他、選考方法等の詳細は別紙を参照してください。
- ◆75 歳以上及び 80 歳以上の種目は、公開種目（フリー参加）のため、出場希望者は、予選会当日に全日本シニア大会の参加料（一種目一人あたり 5,000 円）を持参して本部に来ること。
- ◆大会参加者で公認審判員資格を有している者は、大会当日に審判手帳を持参すること。
- ◆競技中の傷害等の事故発生の場合、主催者は応急処置のみを行う。参加各人において、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- ◆大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

以上

## 1. 選手割当数の取り扱いについて

全日本シニア大会の各都道府県の選手割当数については、有資格者を除き、「最低割当数 6+（前年度登録者数※）×5%」と定められており、福井県は例年 45 人程度の割り当てがあります。

福井県バドミントン協会として、全日本シニア大会の県代表選手の選考を「2. 選考方法について」のとおり行いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※ 前年度登録者数・・・令和4年度日本バドミントン協会登録区分「一般」登録者数

**全日本シニア大会出場の有資格者は、前年度同大会のベスト 16 の選手となります。**

## 2. 選考方法について

(1) 予選会への参加申込者数が選手割当数を超えた場合、次の順により、全日本シニア大会の出場候補者を選考する。  
(出場候補者とは、全日本シニア大会への出場権を得る候補者のことを指し、出場の可否については県協会常任理事会にて決定される。)

①予選会における各年代の各種目第1位の選手。（下記注意事項を参照すること）

### ◆①で選手割当数を超える場合

次の順に該当する選手を優先的に選考する。

②①のうち、有資格者をパートナーとする選手。（県外の有資格者も可とする）

③①のうち、有資格者が選んだパートナーとなる選手。ただし、有資格者の予選会への出場の有無は問わない。  
(県外の有資格者も可とする)

④①のうち、予選会で参加者人数の多い年代の選手。

上記②～④でそれぞれ選考する際に、該当する選手が複数いる場合は、県シニア大会の結果等を参考に選考する。

### ◆①で選手割当数を超えない場合

②有資格者の選んだパートナー(予選会に出場)となる選手。ただし、有資格者の予選会への出場の有無及び、パートナーの予選会の順位は問わない。（県外の有資格者も可とする）

③シングルスで選考された年代の第1位の選手が選んだパートナー(予選会に出場)となる選手。

④各年代の2位となった選手。ただし、参加者人数の多い年代の順から選考する。

上記②～④でそれぞれ選考する際に、該当する選手が複数いる場合は、**前回の全日本シニア大会及び県シニア大会等の結果を参考に選考する。**

また、上記による出場候補者を加味しても福井県の選手割当数を超えない場合は、県予選会の結果を参考に、参加者人数の多い年代の順に出場候補者とする場合がある。（県協会常任理事会にて選考する。）

### ◇注意事項

- ・ダブルスで選考された選手が混合ダブルスに出場したい場合は、そのパートナーは、有資格者または出場候補者の中から選ばなくてはならない。なお、その場合の出場する年代は問わない。県外のパートナーも可とする。  
また、シングルスに出場したい場合も、その出場する年代は問わない。
- ・シングルの有資格者がダブルスに出場したい場合は、そのパートナーは、有資格者または出場候補者の中から選ばなくてはならない。なお、その場合の出場する年代は問わない。県外のパートナーも可とする。

(2) 予選会への参加申込者数が選手割当数を超えなかった場合、予選会への参加申込者は全員出場候補者とし、残りの選手割当数については、期間を定めて、出場候補者の2次募集を行う。なお、募集する種目は、ダブルス、シングルス、混合ダブルスの区別及びパートナーの制限は設けない。ただし、2次募集に申込みした人数が選手割当数を超える場合は、県シニア大会の結果等を参考に選考する。

## 3. 全日本シニア大会に関する手続きについて

①前年度全日本シニア大会でベスト 16 に入った選手（有資格者）には、個別に出場確認の書類を送付する（6月中旬送付予定）ので、必要事項を記入のうえ、**7月21日（金）まで**に必ず返送すること。なお、本予選会当日に、会場まで持参しても構いません。

②本予選会で出場候補者となった選手は、本予選会終了後、全日本シニア大会の参加料（一種目一人あたり 5,000 円）を仮納入していただくため、準備しておくこと。

なお、公認審判員資格等の確認をするため、日本バドミントン協会会員証及び審判員手帳を持参すること。